

【22_088/技術系メルマガ】『損切り』の決め方(決める シリーズ 前編)

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

昨日は、オセアニアマーケット後半戦でオージークロス通貨のエントリーを1本やりました。

▼EURAUD(S) 結果:38.2pips▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1508277184846512132?s=20&t=Fhwo6vIKK-jFXKN9_VNu0g

中長期環境的には、そろそろ下落の波の伸びきり感がある場面なので切り返されるのが怖い位置ではあるものの、気になるサポートも無く

積極的に逆張りのロングを打つ場面では無いので、短期ショート目線で固定。

セットアップは『M5足のMA収縮』+『先週安値=WLの水平線レジ転換』

～～

さて、昨日のメルマガで『楽に』トレードする為には『決める』事が大事という内容をお送りしましたが

その後メールで「"決め方" のヒントを教えてください」というリクエストがあったので

今日、明日のメルマガに分けて『損切り』『利確』について

『僕の基準』でどう決めているのかを紹介します。今回は、『損切り』の方をお伝えしますね。

┌
└─┬─┐
■ 損切りはチャート上の このイメージ で統一しよう
└──────────────────┘

今日のメルマガの結論は、このツイート内に添付した画像で終わってしまうのですが(笑)

▼例のツイート(笑)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1506860966319095808?s=20&t=PDoww5FMVIQs-4tt4yyvhw>

今日の話のメインはこれではなく、損切りは利確と違って『チャート上の視覚的イメージ』で比較的一貫して決めやすい

という特徴があります。

詳しいことは明日の『利確』をテーマにしたメルマガで話すつもりですが、逆に『利確』はチャートの値動きから決めるのは難しいです。

話を戻すと、『損切り』というのは、基本的に自分の『型』において

【想定が崩される条件が整った時】に初めて行うものですので

僕の場合は最初に示したツイートの図のように、自分で認識した①波を全戻しで否定される位置まで帰って来た場合

原則『損切りの条件』になるので、エントリーする位置を決める前に損切りの位置が自動的に決まります。

そして、大事なものは“既に決まっている”のでエントリー時点で”迷う必要が無い”ということ。

予め決まったセットアップを信頼できる状態になっていれば、決まっているルールに従うだけなので

「損切りどこにしよう・・・」なんて迷う必要すら無いわけです。

ここまでの判断軸を作るためには、昨日のメルマガでも書いたように『一定数以上の検証母数』と『十分な期間のフォワードテスト』で

そのルールの『利回りで見た信頼性』を確認する必要があります。

時間がかかりますが、ここを手抜きせずにしっかり取り組めば

リスク管理のルールが『型』として組み込まれたも同然なので、かなり完成度の高いルールになるはずですよ。

利確の決めごとと双璧をなすくらいに、ここを固めるのは大事なので

僕のスタイルを参考にしてくれている人は、僕の決め方を参考にしてみてください。

また、違うスタイルで取り組んでいる方も、『想定 of 否定』をキーワードに

損切りの条件を考えて、『自動的に』損切りの場所を決められるルールを作ってみると良いでしょう。

次回は、『利確』の決め方についてお話ししますね。